

会 議 録

	第4回和泉市緑の基本計画懇談会
開催日	令和2年5月21日（木）
開催場所	書面開催
出席者	和泉市緑の基本計画委員 増田会長 内田委員 藤田委員 宮本委員 久保委員 東委員 中委員
事務局	都市整備室公園緑地担当
会議の議題	・「和泉市緑の基本計画」全体案の整理、報告
会議の要旨	「和泉市緑の基本計画懇談会」は、平成11年3月に策定した「和泉市緑の基本計画」において、その後の都市緑地法等の改正、大阪府による「みどりの大阪推進計画」の策定、本市総合計画及び都市計画マスタープラン等の上位・関連計画の改定、社会情勢の変化等を踏まえ、当計画の改定にあたって、関係各方面から意見をいただく。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> その他
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	新型コロナウイルス感染症に関わる緊急事態宣言の発令および感染拡大防止のため、書面にて開催

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

議事 「和泉市緑の基本計画」全体案の整理、報告

《意見》

- P.1-5～1-6 ページにあるみどりに期待される機能として、生活環境の形成の中に、コミュニティの育成や地域力の強化といった機能と、自然との触れ合いの場の形成の中に、自然や環境学習といった機能を加えられないか。
- P.2-15 において、今後、葉が出る時期を揃えて調査とあるが、植物の成長の時期が種類により違うので、年間を通じて一番緑の多い景観時期を選択する必要性から、季節に応じた緑の変化風景図が添付できないか。
- P.2-17 ページにおいて、生産緑地の記載の中で、農地が減少することも予想されるなか、「特性生産緑地を紹介しています。」といった表現は、保全への取り組みが弱い。都市農業振興基本法に触れ、「従来とは異なり、都市環境にとって重要な緑地の一つであり、都市農業の振興策を伴って、積極的な保全を目指します。」といった保全の方向性を示してはどうか。
- P.2-18 において、貴重種は 141 種でよいか。大阪府と環境省のレッドリストの掲載が同年度でないのはやむを得ないが、表中に和泉市の枠記載があれば読み取りやすいのではないか。
- P.2-24 ページの「社会要請や市民要求」は、「市民要望や要求」のほうがわかりやすい。
- 地域別施策として、いずれの図も凡例が小さく見づらいため、改善頂きたい。
- P.6-3 の計画の進行管理において、管理を行う主体が記載されていない。行政内部に、事業の推進や進行管理をするための庁内会議など何らかの体制が必要と思う。第 3 者委員会的なものは無理でも主体を明示できないか。
- 資料 P.4-1 において、市民が関われることや実施できることを記載しているのは大いに評価できるが、資料編と連携できるよう本編の P.62 市民の役割の項を充実させることはできないか。また、基本施策 29-34 に市民参画が記載されているが、いずれも行政ができる支援や機会提供となっており、市民自らが市民サービスをするゲスト型市民からホスト型市民の取り組みを加筆できないか。
- 資料 P.5-2 の用語集において、句読点の抜けが見られるので確認が必要。

○資料編について、基本的にはこれでよいが、資料 4 の市民や事業者の参画方法は非常に重要であり、この部分だけ本編に移行させるか、あるいは資料編とは独立したものにできないか。市民や事業者の方は、ここだけを見たらそのような役割を自ら担えるのかが、一目でわかるように編集できればと思う。

○文書を市民に読んでもらうという観点から、ヘッダーやフッターに節・項の番号や標題を示すと読みやすく改善すると思う。

以上